

令和元年第13回教育委員会定例会  
(7月4日開会)

台東区教育委員会

日 時 令和元年7月4日(木)午後2時00分から午後2時50分

場 所 教育委員会室

出席者

教 育 長	矢下 薫
教育長職務代理者	高森 大乘
委 員	垣内恵美子
委 員	樋口 清秀

出席者

事務局次長	酒井 まり
庶務課長	小澤 隆
学務課長	福田 兼一
児童保育課長	佐々木洋人
放課後対策担当課長	西山あゆみ
指導課長	小柴 憲一
教育改革担当課長 兼教育支援館長	倉島 敬和
生涯学習課長	久木田太郎
スポーツ振興課長	櫻井 洋二
中央図書館長	宇野 妥

日 程

日程第1 教育長報告

1 報告事項

(1) 庶務課

ア 令和元年第2回区議会定例会代表質問及び一般質問について

(2) 指導課

イ 中学生進路フェアの実施について

2 令和元年8月の行事予定について

3 その他

午後2時00分 開会

矢下教育長 ただいまから、令和元年第13回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、樋口委員をお願いいたします。

また、末廣委員は所用のため、本日は欠席でございます。

なお、教育長及び在任委員の過半数の出席を得ておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、本日の会議は有効に成立しております。

ここで、傍聴について申し上げます。

本日、会議の傍聴を希望する方については、許可することとしておりますので、ご了承をお願いします。

なお、撮影または録音につきましては、所定の手続きを行った場合のみ、許可することといたしたいと思っております。

## 日程第1 教育長報告

### 1 報告事項

#### (1) 庶務課 ア

矢下教育長 それでは、日程第1、教育長報告に入ります。

報告事項を議題といたします。

庶務課のアについて、庶務課長、報告をお願いします。

庶務課長 それでは、令和元年第2回区議会定例会代表質問・一般質問について、ご説明させていただきます。資料の1をご覧ください。

代表質問は、6月11日、一般質問は6月12日に行われ、代表質問は4名の議員、一般質問も4名の議員から教育長に対して質問が行われました。

主なものをご紹介します。恐れ入りますが、資料1を1枚おめくりいただきまして、2ページをご覧ください。

まず一人目ですが、太田議員から、区立学校における働き方改革プランについてということで、教育現場がより良い環境となるよう、学校から、家庭や地域の方へ説明の機会を設け、深く理解してもらうことが大切だということについての教育長の見解を伺うという質問でございました。

教育長の答弁でございますが、「働き方改革プラン」策定後、リーフレットをもとに台東区町会連合会をはじめ、PTA連合会において説明するとともに、各学校園におきましても保護者会などにおいて説明をし、ご理解いただくよう努めてきたところでございます。各学校園では、それぞれの実態に応じて、子供たちと向き合う時間を確保するためさまざまな取組を進めており、こうした取組により、子供への教育活動の一層の質の向上につながると認識をしております。教育委員会といたしましては、地域の皆様にさらなるご理解・ご支援をいただけるよう、各学校園へ今後も丁寧にご説明していくよう指導してまいりますというご答弁をさせていただきました。

続きまして、学校教育ビジョンについての質問で、ビジョンの策定に当たり、今後の台東区が目指す学校教育について、教育長の所見を伺うという質問でございました。

教育長の答弁でございますが、これまでも、学校教育ビジョンにおいて、「ひとつづくり」を理念として掲げ、教育施策の充実に取り組んでまいりました。その後、区の基本構想や新たな学習指導要領、国の教育振興基本計画などが示され、必要となる資質や能力の育成や、新たな価値を創造する社会を生きるために必要となる力の育成が求められるようになってきているところです。教育委員会といたしましては、多様化・国際化する変化の激しい社会に子供たちが対応できるよう、質の高い学びの実現に向けた取り組みを充実させていく必要を考えており、今回の学校教育ビジョンにおいても、まち全体を人が成長するための環境と捉え、豊かな文化や歴史・伝統などを生かすとともに、世界に飛躍し未来を創造する子供たちを育ててまいるといふことでご答弁をさせていただきました。

続きまして、ラグビーワールドカップについてでございます。本年9月から、ラグビーワールドカップが開催されるに当たり、ラグビーフットボール協会が区内の小中学校に、海外のラグビー選手を派遣する事業を計画しているのを、これを機にラグビーの普及に取り組むことには、大きな意義があるかと考えるがどうか、どうかというご質問でございます。

教育長の答弁でございますが、今年開催される、ラグビーワールドカップは世界最高レベルのプレーを観戦できる貴重な機会であり、大会の機運を醸成することは重要な取り組みであると認識しております。教育委員会といたしましては、今までも区民を対象としたラグビーの体験会や、区内の小中学校に対する講師派遣等を実施し、大会の機運醸成に努めてきたところであり、今後も大会の開催を見据え、引き続き大会のPR活動等に取り組んでいくとともに、外国人選手の派遣についても、積極的に支援してまいりたいということでご答弁させていただきました。

二人目でございます。堀越議員でございます。子どもの権利条例について、教育現場における人権教育の現状ということで、台東区の教育現場における人権教育全般の現状について、教育長の所見を伺うという質問でございました。

教育長答弁でございますが、現在、各学校園において、全教育活動を通じて「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」人権教育を推進しており、具体的には、一人一人の意見を学級全員がきちんと傾聴するなど、人権が擁護されている状態を「望ましい」と感じたり、反対に、いじめに関する学級討議を通して、人権が侵害されている状態を「許せない」と感じたりする人権感覚を育てております。その上で、外国人に対する偏見や差別、性的マイノリティーの方々や社会の中で偏見の目で見られ、差別的な扱いを受ける事実など、現在も生じている人権問題について、全ての教科等で、意図的・計画的に子供たちに伝えることにより、人権意識を高める教育を行っております。今後も自他の人権を尊重することのできる子供の育成を図ってまいりますというご答弁をさせていただきました。

3人目でございます。小坂議員でございます。交通安全対策につきまして、ご質問は、高齢者が運転する車の事故や園児を巻き込む事故が発生する中で、区民や子供たちの安全

安心を守ることは大変重要な課題であると認識しており、本区における子供の交通安全対策について、教育長の所見を伺うというものでございます。

おめくりいただきまして、4ページになりますが、教育長答弁といたしましては、教育委員会では、通学路における交通安全確保のため、随時、通学路点検を行い、警察や道路管理者と協議のうえ、交通規制や横断歩道の設置、交差点の強調表示や路側帯のカラー化などの実施をしております。またさらに、学校安全ボランティアや保護者、地域の方々、子どもの安全巡回パトロールによる見守りのほか、学校・園において、安全な歩行や交差点の横断の仕方をはじめとした交通安全指導を計画的に行うなど、さまざまな安全対策に取り組んでおります。今般の事故を受けまして、小中学校のほか、幼稚園、保育所、認定こども園においても「学校安全計画」や「危機管理マニュアル」について再点検を行うとともに、通学・通園や、校外活動・園外活動の経路における交通環境の改善を図るための調査を実施しており、今後、この調査結果を関係機関等と共有することにより、さらなる安全対策の強化を図ってまいりますというご答弁をさせていただきました。

代表質問の最後、4人目の議員で早川議員でございます。ICT教育について、新学習指導要領の全面实施を見据えて、今後のICT教育をどのように進めていくか、教育長の所見を伺うという質問でございました。

教育長答弁でございますが、変化の激しい社会を生き抜くために必要な情報活用能力の育成には、ICT教育が重要であると考えており、平成30年度からは区立小中学校三校をICTモデル校として指定し、現在も実践研究を進めているところでございます。モデル校の実践におきましては、タブレットパソコンを教員が活用するとともに、子供たちもそれらを道具として使いこなすことで、主体的・対話的な学びをしており、教育委員会といたしましては、こうした実践は、教員の指導力向上に関する知見を得る上で有効であるとともに、情報活用能力の育成に資するものであると考えておりますので、今後もICT教育環境の全校整備を見据えながら、教員の指導力向上に力を注ぐことで、子供たちの情報活用能力の育成を図るICT教育の推進を目指してまいりますということで答弁をさせていただきました。

以上が代表質問に対する答弁でございます。

続きまして、一般質問、6月12日に行われた一般質問について、ご説明させていただきます。恐れ入りますが、1枚おめくりいただきまして、3ページをご覧ください。

まず、中澤議員から、通学路の安全対策について、登校中の児童や保護者が巻き込まれる事故が発生した。通学路の安全確保、不審者情報の共有など、子供たちを守る安全対策が重要であると思うがどうか、教育長の所見を伺うという質問でございました。

教育長答弁でございますが、教育委員会では、学校安全ボランティアや保護者・地域の方々による見守り、防犯カメラの設置や防犯ブザーの貸与、「子ども安全の日」を設定し一斉下校を行うなど、さまざまな対策に取り組んでおります。昨年9月には、小学校全校における通学路や学校からこどもクラブ及び児童館までの経路について、防犯の観点によ

る合同点検を実施し、その結果必要とされた対策として、警察官によるパトロールやこども110番の取り組みの強化、児童への安全指導の徹底などを行ったところでございます。不審者情報の共有については、警察や学校・園から情報を提供いただき、速やかに小中学校等に周知をしており、教育委員会としても、今後も関係機関との連携を強化し、引き続き子供の安全対策に努めてまいりますというご答弁をさせていただきました。

続きまして、本目議員からは、区とこれからの区民の関係ということで、区内団体、に負担をかけ過ぎない運営を、具体的には町会とPTAということなんですが、PTAに関する事で、区がPTAに対して、会議の出席等を依頼している者が多いと考える。また、PTAについては、相談する部署がわからないとの声を聞く。現在のPTAに対する認識と今後どのように対応していくかについて、教育長の所見を伺うという質問でございました。

教育長答弁でございます。PTAは、保護者と教職員による自主的な活動を通じて、学校、家庭、地域が連携し、児童や生徒を見守るなど、健全な成長を図る上で重要な役割を果たしていただいているものと考えております。一方、家庭を取り巻く状況や社会のあり方が変化する中で、PTAの活動について、負担を感じている保護者がいることも認識しております。教育委員会では、その負担感を軽減するために、保護者同士が話し合いを通じて活動の理解を深めたり、活動に役立つ知識を得ることができる場を設けるなどの支援を行っており、これからもPTAの活動に関するさまざまなご意見を伺いながら、保護者がPTAの活動に参加していただけるよう、支援に取り組んでまいりますというご答弁をさせていただきました。

1枚おめくりいただきまして、同じく本目議員から、子供を取り巻くリスクに備えるということで、子どもの交通事故防止という観点から。質問は、子供を巻き込む交通事故の発生を受け、区が認可保育所等に依頼した調査により、区内全域にわたる危険箇所が報告されると思われる。これまではチェックが実施されていない保育園のお散歩ルート等についても、国や都と連携して一刻も早く危険箇所への対応をするべきと考えるがどうか、というご質問でございました。

教育長の答弁でございますが、認可保育所等における散歩などの園外活動については、子供の運動能力・運動機能の発達の促進、交通ルールやマナーの習得、さらにはさまざまな効果があるため、大変重要なものであると位置づけており、そのため活動する際には、交通事故の防止など、子供の安全を確保することが何よりも重要であり、これまでもマニュアル等において十分に配慮をしてきたところです。また、さらなる安全対策の強化のため、全施設に対して改めて、安全に待機できるスペースが確保されていない交差点や、車両の走行スピードが速い道路など、施設周辺の園外活動の経路における危険箇所の調査を実施しているところであり、教育委員会としては、今後、この調査結果をもとに、関係機関等と連携しながら、引き続き、子供の安全確保に最善を尽くしてまいりますというご答弁をさせていただきました。

続きまして、中嶋議員です。放課後子供教室についてでございます。「台東区放課後対

策の方針」の中で、全19小学校で放課後子供教室を実施するとしているが、全小学校での実施に至っていない。現在の状況と、全校実施に向けて今後の進め方ということで、教育長に伺うという質問でございました。

教育長の答弁でございますが、放課後子供教室は現在5校で実施しており、サッカーやビーチボールなどの運動プログラム、英語やプログラミングなどの学習プログラムを実施校の状況に合わせて行っております。運営につきましても、民間事業者に委託しており、学校及び地域協力者等をつなぐコーディネーターを配置することで、地域の方を講師として招いたり、ボランティアにも参加していただいております。放課後子供教室の実施に当たっては、各学校の状況に応じたプログラム内容の検討や活動場所の確保、校内や近隣のこどもクラブ等との連携など、準備が整ったところから順次行っており、来年度については、新たに4校で実施し、引き続き拡大していく予定ですというご答弁をさせていただきました。

最後、松村議員でございます。5ページをお開きください。年少人口の対応についてということで、本区の年少人口が今後増加が見込まれる中で、子供の教育環境に影響を及ぼさないように対応することが重要であると考え、教育長の所見を伺うというご質問でございました。

教育長答弁でございますが、台東区の年少人口につきましては、平成29年度に実施した「台東区の将来人口推計」において、令和9年まで増加する見通しとなっており、教育委員会では、児童数の増加により、教室の不足が予測される学校については、指定校変更や区域外就学の制限を行い、さらに対応が必要な場合には、特別教室等の転用により、普通教室を確保することを基本的な考え方として対応しているところであります。今後もこれまでの考え方を踏まえながら、既存施設を活用し、良質な教育環境の整備に努めてまいりますというご答弁をさせていただきました。

代表質問・一般質問についてのご報告は以上でございます。

矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

樋口委員 やはり幼児などを巻き込む交通事故って、本当に深刻な問題でありまして、普段の通学路やおさんぽルートを、車道と歩道の区分けをしても危ないということですので、歩道があるときはしっかり歩道を歩くということを繰り返し指導をし、また、どうやったら交通事故に巻き込まれず済むかということを先生方に、丁寧に小まめに周知していただきたいと思います。また、その他危険な個所はこちらから注意を喚起することも必要だろうと思います。

児童保育課長 この答弁にもあるとおり、保育園については、各園に改めてその危険箇所の調査をさせていただいたところでございます。

こちらの答弁のとおり、改めて再点検をするのと、情報はこちらのほうで、集約が終わっていますので今後それを関係機関と共有して、必要な対策をとっていきたいというふうには考えております。

矢下教育長 道路でもし直す余地があるとか、あるいは警察と調整することで変えられることがあるなら、それをもう一回今までのレベルから上げていくんですかね。

児童保育課長 具体的に警視庁のほうからも情報提供の依頼が来ておりますので、そういったところにも適切に対応、情報を出して行って、対応していきたいと考えております。

樋口委員 台東区では、一本路地に入った道路に危ないところが、谷中地区ですとか、歩道と車道がほとんど一体化しているところがありますので、まさにそういうところをもう一回我々は点検しなければならないですね。

高森委員 今の樋口委員のご質問に関連して、資料の4ページの一番上の質問要旨の部分、本目委員からの質問についてですが、子供を巻き込む交通事故の発生を受け、区が認可保育所等に依頼した調査という言葉があるのですけれども、これは依頼したのは区なのでしょうか、教育委員会なのでしょうか。それから認可保育所等の、この「等」には何が含まれるのかということをお教えてください。また、依頼した調査内容がどのような内容だったのか、もしおわかりになるようでしたらこちらもお教えてください。

児童保育課長 児童保育課長名で各園に調査をお願いしているところでございます。また、公立・私立の認可保育所「等」というのは、認可保育所と、そのほかにも小規模保育所ですとか、区分けで言うと認可保育所と分けて考えられるところを対象に調査をさせていただいたところでございます。

内容については、具体的にその危険箇所がどこなのかということと、そこがどういう状態なのかということを結構具体的に書いていただくような形で調査をさせていただいたということです。

高森委員 関連して小・中学校・幼稚園はいかがでしょうか。

学務課長 今回のこの調査に合わせまして同じ調査をおこなっております。

高森委員 内容は全く同じものでしょうか。

学務課長 同じものです。

高森委員 道路状況は時々刻々と変わります。特に心配なのは、大型バスです。この前、私も上野の国立科学博物館から、JR 鶯谷駅に通じる道に大型バスが10台くらい並んでいて、その間をどこかの園の先生方が子供たちを引率しながら歩いている姿をみて、非常に心配をしていたところです。あの辺りは大型観光バスが時々駐車場待ちをして並んでいるような状況になっていて、そのような状況は、常日ごろあるわけではなく、一日のうちわずか一、二時間の間という、限定された時間帯で起きている事態なので、そういった事態に学校園は気づかないこともあると思うのです。大型バスは視界が悪くて、その間を歩いていくにしても、横から何が飛び出してくるかわからない状況もあるので、常に注視していただかなければならないかなと思います。もしかしたら警察のほうで情報を把握しているかもしれませんから、うまく連携をとっていただきながら進めていただきたいと思います。

樋口委員 高森委員が言われたように、状況状況で、場合によっては大型バスが止まっ

ているところ、場合によっては一方通行の中を車と人が一緒に通らなければならないところなどいろいろあります。個別のケースに応じて、どういう注意をしたらいいかというところを考えていかなければならないなと思いました。

高森委員 次に、本目議員の質問の最初の部分ですけれども、区内団体に負担をかけ過ぎない行政運営をとという質問の要旨の部分ですが、この要旨と教育長答弁とでは、少々かみ合わないと思う部分があるので伺いたいのですがよろしいでしょうか。

本目議員の質問では、区が町会やPTAに対して会議等の出席を依頼しているものが多いという、要するに区や教育委員会がPTAや町会を招集する会議に対しての負担感についての質問なのかなという気がするのですが、そういった質問要旨の理解でいいのかということと、それに対する回答の教育長答弁の中、三段落目に、PTAの活動に対して負担を感じている保護者がいることも認識しておりますという答えがあるので、認識しているということは、恐らく本目議員のもともとの質問の中にPTA活動に対する負担についての質問があったのかなと、それが欠落していて少しわかりにくい気はしますが、そのあたりはいかがでしょうか。どちらの視点でのご質問と答弁になるのでしょうか。

生涯学習課長 1点目についてですが、本目議員のご認識といたしましては、実際のPTAの活動に従事された方等のご意見の中で、区から依頼される会議への出席とか、そういったものについて負担を感じていますという意見を実際に受けられたということで、今回のこのご質問につながったということがございます。

その上で、PTAと町会について、このような形でご質問をされたところです。2点目につきましては、やはりそういったPTAの活動について負担を感じているというご意見は確かにいただいているので、今回、教育長のほうから、その実態としては認識している旨を回答させていただいているということになります。

高森委員 そうすると、本目議員のPTA活動の負担についての質問・意見というのは、区民から声を聞いたので、今回の質問をされたという意味ですね。

生涯学習課長 おっしゃるとおり、本目議員は、保護者の方からご意見を伺っているようです。区からの依頼についても負担を感じていますし、そのPTA活動自体についても、若干の負担を感じているようです。今回はそういう全体の認識があるので、質問ということで、行政からの依頼等の質問に関していただいているということになります。

高森委員 最近、PTA活動自体に負担を感じている保護者が増えていて、いろいろと教育委員会がてこ入れをする形で、PTA活動のやり方を変えて行くような取り組みをしている地域もあるというふうに向っています。実際にこれは、ある特定の人の意見ですから、全体の総意を聞いているわけではないので、その辺も慎重に調べながら進めていただければと思います。

あと、一つ気になるのですが、区が町会やPTAに対して、会議の出席を依頼しているものが多いと書いてあるのですが、実際はどのようなのでしょうか。

矢下教育長 これは、本目議員の言い方ですので、これについて私たちがどうというこ

とは答えておりません。

高森委員 わかりました。

垣内委員 ちょっと別の質問で2点ほどよろしいでしょうか。

3ページの中澤議員のご質問の中で、こども110番の取り組みの強化とありますけれども、これはどなたか住民の方をお願いされて、そういう協力者となっただくという、そういうものだったのでしょうか。また、どのくらい今進んでいて、どんなふうに強化されているのかというのが1点目。

2点目はICT教育のところですが、以前、ICT教育でタブレットを使った教育を視察させていただいたときに、結構パソコンが、固まっています、どうもそのWi-Fi状況が今一つだと。これから5Gなども展開するようですが、そのあたりのネット環境の整備はどのようにお考えなのか、2点質問です。

学務課長 1点目のこども110番につきまして、学務課のほうで所管していますので、お答えさせていただきます。

こちらにつきましては、地域の方にご協力いただいて、お子さんたちが何かあったときに駆け込める、そういったご協力をしていただいているところでございます。

こちらは、昨年9月に防犯の観点から合同点検を実施したときにもいろいろお声がけをさせていただいております、そのときには、10軒くらい新たにご協力いただいたところでございます。引き続き警察のほうでも、我々のほうでもご協力をお願いを投げかけているという状況でございます。

垣内委員 今、どのくらいの密度でといいますか、全然ないところもあるのかとか、そこら辺はいかがでしょうか。

学務課長 今手元に分布はございませんが、区内で確か150軒ほどご協力をいただいているところでございます。

垣内委員 なかなか生活スタイルで多様であったりとか、こういう地域の協力を得るのは難しいと思うものですから確認したかったところです。

学務課長 個人宅だけではなくて、コンビニさんとか、そういったところもでございます。

教育改革担当課長 ICT教育について回答させていただきます。前回は視察いただきましてありがとうございます。今、本区ではモデル校でさまざまな条件と、さまざまな台数を稼働させたときにどうなのかという、そういうところも含めて研究をしているところでございます。ただ、垣内委員がおっしゃるとおり、国のほうでも動きがありますので、動向を注視していきたいと思っております。また、技術はどんどん進歩しておりますので、どこかでまた考え直すということは、当然未来にはあるのかなと思っておりますが、現在はモデル校の成果を踏まえて全校展開へどうにか結びつけていきたいというところでございます。

垣内委員 私が拝見したときに、結構固まっています使えなかった教室が幾つかあったように見受けられたので、それはちょっともったいないといいますか、どういう理由でそうなっているかというのは、今調べていらっしゃるということですね。

教育改革担当課長 おっしゃるとおりでございます。、どういうソフトをどのくらい使ったらどうなるかとか、動画をどれだけ使ったらどうなるのかというところは検証をしていただいているところでございます。

例えば100の速度があったとして、どれくらいの速度が出ているのかというところは、客観的な数値が業者のから上がってきているんですけれども、80くらい出ているというところですので、決して悪い環境ではないようです。ただ、機械なので、先生のおっしゃるとおり、どういうときにそういう状況になるのかというところは見極めておかなければ、活用もできないのかなと思いますので、そういうところもモデル校の成果と課題を、全校展開が実現した際には活かしていきたいと考えております。

高森委員 一つ私が気になっているのが、アプリケーションやいろいろなプログラムのアップデートが行われると思うのですが、アップデート作業というのは、どのような頻度で行うのでしょうか。また、いつの時間帯に行う予定なのでしょうか。

教育改革担当課長 今回想定しているのは、ウィンドウズ10で整えていくという方向では考えてはおります。委員がおっしゃるとおり、ウィンドウズ10は頻繁にそのようなアップデートがあるということも承知しております。

学校現場で使うことを考えますと、授業に影響するであろうということで、ある程度の区切りですとか、年度末とか、そういう一定の期間で業者が変えていくというような形になります。業者には、しっかりと構築していただきまして、ウィンドウズ10が運用できるように、そういうスケジュールも組んでおります。

学務課長 先ほど、こども110番の件数をご報告させていただいたんですけど、ちょっと誤ってましたので訂正させていただきます。

平成31年の4月1日時点で、登録件数は、1,428でした。失礼しました。

高森委員 こども110番の開設できている時間帯などの決まりはあるのでしょうか。例えば重点的に子供たちの登下校時にはできるだけいていただきたいような要望というのは出すことが出来るのでしょうか。

学務課長 善意でご協力いただいておりますので、特にそのような要望は行っておりません。

矢下教育長 よろしいでしょうか。

(なし)

矢下教育長 それでは、庶務課のアについては、報告どおり了承願います。

## (2) 指導課 イ

矢下教育長 次に、指導課のイについて、指導課長、ご報告をお願いいたします。

指導課長 それでは、中学生進路フェアの実施について、ご説明いたします。資料2でございます。

項番1の目的でございますが、中学生とその保護者に中学校卒業後の進路について考え

る機会を提供するものでございます。

項番2実施概要でございます。最初に、真ん中の2点目でございますが、本事業は、台東区立中学校PTA連合会に事業の実施を委託しており、PTA連合会が高等学校等に参加を依頼し、集約をしております。

また、上の1点目に戻りますが、当日は公立・私立の高等学校と上級学校が、それぞれのブースにおいて、関心があつてその場に来た生徒や保護者それぞれに説明をするといういわゆるブース形式で説明を実施いたします。

項番3の日時、場所は記載のとおりでございます。

項番4、周知方法でございますが、生徒には各校PTAから、中学校を通じて、別添のリーフレットを配付するとともに、区の公式ホームページにも掲載し、区立中学校に在学していない生徒・保護者にもご案内してまいります。

項番5に昨年度の状況を記載いたしました。一番下の来場者数は、昨年度当日の晴天もあり、一昨年度の1,242名を超え、1,486名となっております。なお、先ほど申し上げた、別添のリーフレットですが、裏面に参加校等が一覧となっておりますので、後ほどご覧ください。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

高森委員 参考までに、区立中学校の生徒数というのは、総数は何人になりますか。

学務課長 31年度につきましては、全校で生徒数で2,269名です。

高森委員 この取り組みは大変有意義で、生徒たちも大勢参加してくるので、引き続きお願いしたいと思っておりますけれども、でも半分の生徒は来ていないということなのですね。

指導課長 1,486名の内訳ですが、生徒が926人、保護者が560名ということで、親子で来ているようです。生徒は、圧倒的に第3学年が多くなっております。第2学年で強い関心のある子も来ます。第1学年から来るといふ子は、いますが、非常に少ない数になっています。

高森委員 2年生のときから来ている生徒さんも多いですね。夏休み以降、2学期に入ってから進路を決めるような形ですね。なので、開催時期はタイミング的にもとてもいいかなと私は思います。ありがとうございます。

矢下教育長 よろしいでしょうか。

(なし)

矢下教育長 それでは、指導課のイについては、報告どおり了承いたします。

## 2 令和元年8月の行事予定について

矢下教育長 次に、8月の行事予定について、庶務課長、報告をお願いします。

庶務課長 それでは、令和元年8月の教育委員会の行事予定について、ご説明させていただきます。資料3をご覧ください。

8月の教育委員会定例会でございますが、2日金曜日が2時から、21日水曜日が、午前10時から、それぞれ開催を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

そのほかといたしましては、20日火曜日、国際理解重点教育海外派遣団の出発式を2時から予定しております。

また、27日には、台東区の私立幼稚園の連合会の教員の1日研修会、28日夏期ラジオ体操反省会等が予定されております。

そのほかの事業についても記載のとおりでございます。それぞれ、各教育委員の先生方にはご挨拶等をお願いしているところでございます。

私からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございますか。

よろしいでしょうか。

(なし)

矢下教育長 それでは、8月の行事予定については、報告どおり了承いたします。

### 3 その他

矢下教育長 その他、何かございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(なし)

矢下教育長 以上をもって、本日予定された議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の定例会を閉じ、散会いたします。

午後2時50分 閉会